



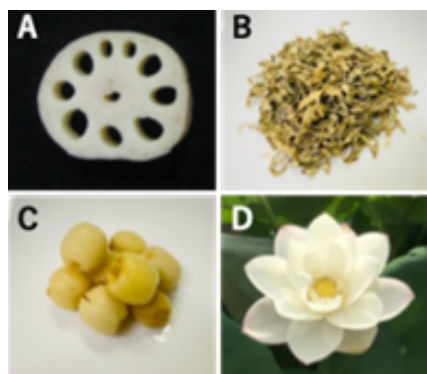
ハスの安定生産・高品質化に向けた栽培技術の開発

農学部 応用生物科学科

助教 富吉 啓太

研究シーズの概要

ハスは水生の多年生植物で、花は咲きにくい根茎の肥大性は強い「食用ハス」と、花が咲きやすく根茎の肥大性は弱い「観賞用ハス」があります。ハスは夏に綺麗な花を咲かせ我々の目を楽しませるだけでなく、肥大した根茎（レンコン）や果実（種子）は食用として、葉や花はお茶として、さらにハスのほぼ全ての部位は生薬として利用されるなど、幅広い用途のある植物です（第1図）。一般的に、ハスの栽培には広い面積が必要であるため、温度や光などの生育環境に対する影響を調査するのが困難です。しかし、当研究室ではハスの実生を利用したコンパクトな栽培体系を用いることで、様々な生育環境に対するハスの形態や品質への影響を調査しています（第2図）。ここで明らかになった形質を活用し、ハスの安定生産・高品質化栽培技術の開発に貢献したいと考えています。



第1図 ハスの様々な用途

A: レンコン B: ハスの葉茶
C: ハスの実の甘露煮 D: 観賞用ハス



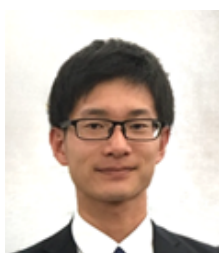
第2図 異なる日長条件下で栽培したハスの根茎の様子
(左: 短日条件、右: 長日条件)

短日条件下では根茎は肥大し、長日条件下では根茎は伸長する。

【利用が見込まれる分野】 食料生産・観賞植物・生薬

研究者プロフィール

富吉 啓太 / トミヨシ ケイタ



メールアドレス tomiyoshi.keita@kagawa-u.ac.jp

所属学部等 農学部 応用生物科学科

職位 助教

学位 博士（農学）

研究キーワード 蔬菜、施設園芸、食用ハス（レンコン）

本研究に関するお問い合わせは、香川大学産学連携・知的財産センターまで

問い合わせ番号：AG-24-003

直通電話番号：087-832-1672

メールアドレス：ccip-c@kagawa-u.ac.jp